ninoyu satoshi

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成23年 No.234 5月号

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

28日に自民党府連定期大会
二ノ湯会長、橋村幹事長を選出へ

政権奪還に向け強い組織を目指す

統一地方選挙で劣勢を挽回し、民主党に大きく勝利、府会、京都市会で第一党の座を堅持して勢いづく自民党京都府連。来る5月28日に京都産業会館シルクホールで、平成23年度の定期大会を開く。今回は役員の改選時期であり、新しい会長、幹事長を選出することになっている。会長は二ノ湯参議院議員が続投し、幹事長には京都市会議員の橋村芳和氏が就任する予定である。新しい執行部は、野党になった現在、戦う自民党に脱皮するために、党員増大に努め、若手の活動家を育て、信賞必罰を導入し、真に足腰の強い組織を作り上げなければならない。当面は来年早々にも執行される京都市長選挙への対応、そして予想される衆議院総選挙で議席が空白となっている小選挙区で勝利することが大きな課題である。なお、当日来賓として、山田啓二京都府知事、門川大作京都市長が出席の予定である。

対抗馬がなく無投票当選となった京田辺市長(上)木津川市長(下)選挙

恒心

★東日本大震災による東北三県の壊滅的な被災地の復旧、復興を急ぎ、被害に遭った人々へ援助の手を差し延べるのは何はさて置いても最優先しなければならない。避難所生活もそろそろ限界である。不自由な生活を余儀なくされている人達に早く正常な生活に戻ってもらえるようにしなければならない。★今回の場合、地震、その後の津波の被害だけでなく、原発事故が重なり政府の対応にも難しいことが多いのは理解できるが、それにしても政府の対応のまずさ、遅さに不平をもらす人が多い。民主党の政治主導のやり方がいかに混乱をもたらしているかが明らかになった。★官僚に頼らない政治主導の確立は聞こえはいいが、現実的ではない。マニフェストで政治主導を掲げたために、優秀な官僚の知恵を借りることが出来なくなっている。素人集団の民主党である。この際恥も外聞も見栄も捨てて彼らの能力を生かすべきである。★マニフェスト(政権公約)にこだわっているが、ほとんどの施策は中途半端に終わる可能性が高い。先の一次補正では、何とか財源を捻出したが、10兆円規模となる2次補正では、民主党の4kといわれる無駄なばら撒き施策を撤回しない限り、野党の賛成は得られない。★熟議とか熟慮とかかっこいい言葉を民主党内閣は連発するが、菅首相の判断は、国家、国民のためよりも、全て政権延命に有利、不利で決まる。中部電力浜岡原発の稼動停止要請は、たしかに首相の勇断のように思われるが、国民の受けを狙ったもので素直に評価できない。中止による膨大な燃料負担をどうするのか。夏の電力は確保できるのか。熟議、熟慮した形跡が全く見られない。

京都市会議長に小林正明氏

府会は来週早々に決定

統一選挙が終わり地方議会では、議会を開き、最優先に議長はじめ常任委員長などの人事を決めることになっている。焦点の人事である議長については、府会、京都市会において自民党が第一党を堅持したために、引き続き自民党議員団から選出される。議長人事は、主として当選回数が決め手となる。府会では当選5回以上の議員が5人、京都市会では3人である。市会では小林正明氏（北区）、大西均氏（左京区）、橋村芳和氏（伏見区）の3人が対象者であったが、小林正明氏（63才）を議長候補に推薦、与党会派の賛同を得て、第77代市会議長に選出された。府会は今月23日に議会が召集され、新しい議長を選出する予定である。

経歴

昭和45年　立命館大学　卒業
昭和58年　衆議院議員伊吹文明秘書
平成３年　京都市会議員初当選
平成８年　市会文教消防委員長
平成９年　党府連組織副委員長
平成17年　市会普通予算・決算特別委員会委員長
　　党府連政調会長
平成18年　党府連政調会長
平成21年　交通水道委員会委員長

生年月日：昭和23年1月12日

小林正明氏

府連幹事長に橋村京都市議

自民党京都府支部連合会の会長、幹事長を含む役員の任期は次期大会迄である。会長は衆参国会議員の中から互選、幹事長は府会、京都市会で交互に選出するのが慣例となっている。4月28日、東京で国会議員団会議を開き、二ノ湯会長の続投を決めた。幹事長は、市長選のあるときは、京都市議団から選ばれる。京都府連の中に設置された「会長・幹事長選挙管理委員会」では自民党京都府会議員団、京都市会議員団に幹事長選考を依頼、両議員団から橋村芳和京都市議（49才）を推薦するとの報告があった。これを受けて、自民党京都府連幹部会・常任総務合同会議を開き、二ノ湯会長、橋村幹事長をはじめとする新しい人事案件を承認、来る5月28日に開催される党大会で提案、承認を得る予定である。橋村氏は当選5回、市会議員に当選する前は谷垣禎一衆議院議員の秘書を務めていた。

経歴

昭和60年　龍谷大学法学部　卒業
平成３年　京都市会議員初当選
平成13年　党府連・青年局長
平成19年　市会議員団代表幹事
平成21年　市会運営委員会委員長

生年月日：昭和36年12月18日

橋村芳和氏

山田知事、全国知事会長に
期待される地方自治への見識

都道府県、市町村の首長および、議長の全国組織があり、地方6団体といわれている。親睦を目的とする連合組織ではなく、地方自治法に位置づけられた公的な組織である。地方団体の代表として、地方の課題について政府に意見を述べ、問題解決に努力するのが大きな役割である。中でも全国知事会会長は6団体の先頭に立って、旗振りの役目を果たさなければならない。今回、近畿地方の知事が中心となって、会長候補に山田啓二京都府知事を担ぎ、上田埼玉県知事と争い、僅少差で勝利し、第11代会長に選出された。会長に京都府知事が就任するのは初めてである。総務省出身の山田知事は地方行財政に精通しているのは当然であるが、将来の地方自治のあり方にも熱心に取り組んでいる。なお京都府の関係者で地方6団体の長を経験していないのは全国町村会長だけで、それ以外は次の通りである。

知事会総会で挨拶する山田知事

地方六団体歴代会長（京都）

①知事会		
第11代	山田啓二	京都府
②市長会		
第2代	神戸正雄	京都市
第10代	高山義三	京都市
③町村会		
（副会長）	野中廣務	園部町
④都道府県議長会		
第52代	小牧誠一郎	京都府
第62代	家元丈夫	京都府
⑤市議会議長会		
第14代	冨森吉次郎	京都市
第21代	竹内忠治	京都市
第53代	二之湯　智	京都市
⑥町村議会議長会		
第27代	中川圭一	園部町

カレンダーをお譲りください
普段気にしないが大事なもの

非常時となり、不自由な避難生活を送っていると普段あまり気にしないことが非常に大事であることがわかってくる。先日出会ったNPO関係者が、東日本大震災で避難生活をしている人が、カレンダーを欲しがっていると言っていた。確かに毎日決まった仕事をすることもなく、一日中避難所にいれば、今日が何曜日なのか、曜日も分からなくなってしまう。そのために曜日を確認したり、行事を書き入れるためにカレンダーを欲しがっている人が多いそうだ。年末になると多くのカレンダーを事務所にいただくが、あちらこちらに掲げてはいるものの、部屋に残っているものもある。新年から5ヶ月近くも過ぎていますが、事業所・ご家庭に、未だカレンダーをお持ちであれば、お譲り下さい。連絡をお待ち致しております。

今期限りで勇退した坪内正一氏(府会、長岡京市・乙訓郡)、田中セツ子氏(市会、南区)の2人の前議員から在職中の思い出などのメッセージを寄せていただいた。

坪内　正一
共産府政打倒が政治活動の始まり

私は、昭和61年4月の京都府議会議員補欠選挙で初当選以来、7期25年間にわたり、地元の課題の解決と京都府の均衡ある発展をめざして努力して参りました。1月26日、偶然エジプトのカイロ市に居ました。市内の広場にデモ隊が集まり、市街の道路には戦車が並び、デモ隊と対峙している現場を見ました。現地のガイドの説明によると、エジプトのムバラク大統領が30年間にわたり独裁政治をやってきて、大統領の言うことを聞かなかったら何もできない。その不満がこのデモになっているとの事でした。これを聞いて、私の若い頃の京都府と同じだと思い出しました。共産党が操る蜷川独裁府政であります。蜷川府政の言う事を聞かなければ何もできない時代でした。知事選挙ともなると、公務員の選挙活動は法律で禁止されているのに、府の出先機関の職員が勤務時間中から選挙のビラ配布にかり出されていました。それでも、何のとがめもなく、これを見過ごせば、京都府が共産党の独裁政治になってしまうという強い思いが、私が政治活動にかかわる始まりでした。

昭和53年4月に蜷川府政が終わり、林田府政が誕生、府政も正常化の道を歩み始めました。しかし蜷川時代の遅れを取り戻すことは容易ではありません。現在も後遺症の一例として高速道路の整備率は全国最下位です。名神高速道路が開通してから後、京都府は20年の間、国の事業として府内での高速道路事業は何一つやってこなかった。いまだに京都縦貫自動車道路が未開通となっている。他府県並みに事業に着手していたならば、京都府の北中部は大きく発展していたものと考えます。ほんの一例ですが、その時代の為政者によって、地域の発展や住民の安心・安全がいかに違ってくるかが判ります。今の政権は、菅総理が自ら言ったように仮免許政権であり、国を守る政権担当能力が無い政権であります。早く政権交代をしなければ、一日延びる毎に日本国が凋落(ちょうらく)していくのではないかと心配です。

後継者と握手する坪内氏

田中セツ子
誇りたい議員定数削減の条例

市会議員20年間を振り返ると色々あったが、私にとって印象に残っている議会は議員定数等特別委員会です。全国で9割を超える地方議会が議員定数を法定上限以下に減らしているが、京都市議会は35年間、定数を一度も変更していなかった。定数削減問題は議員生命に関わり、簡単にまとまらないと言われてきた。しかし平成13年3月に議員定数等特別委員会(田中セツ子委員長)が設置され、議員同士がオープンに議論し、時には与党の委員らが激しいやり取りをした。京都市は厳しい財政状況の中、非常事態宣言を出し、指定都市で初の全職員の給与カット、リストラを断行した。議会も議会改革を考えなければならない時でした。特別委員会を11回開催し、精力的に議論し、14年3月26日の本会議において、賛成多数で議会議員定数条例が可決された。改正の内容は議員定数72人を69人とする。改正のポイントは①人口は多いけれども、人口の少ない行政区よりも議員定数が少ないという現象(いわゆる逆転現象)をすべて解消した。②大幅な定数の増減は、選挙区の候補者や選挙民に混乱が予想されることから、激変緩和措置として増減は1人以内にすることにした。③西京区と上京区との格差を1・54倍にまで縮め、前回平成2年の定数是正時の1・66倍より更に是正を強化した。④市の厳しい財政状況の中、市会として何が出来るのかを市民の目線に立って考え、市民に分かりやすく示すために、法定上限数72人に対し69人とした。共産党は格差是正は当然必要と考えるが、総定数削減は議会活動を弱体化させるもので72人を堅持すべきと発言し、議案に反対した。この委員会は毎回入口にNHK、KBSのテレビカメラが回っており、記者席には委員より早く市政記者が着席し、翌日の朝刊には必ず委員会の内容が報道されていた。新しい自治体議会への扉を開け、議員定数等条例案を誇りを持って提案説明したことを思い出します。

議員定数等特別委員会での田中氏

'11 夏まつりのご案内

ご好評いただいております恒例のビアパーティを開催いたします。
是非ともご参加ください!!

日時 **8月1日(月)・2日(火) 16：00～**

場所 **ホテルグランヴィア京都**（JR 京都駅ビル内）
3 階宴会場

お一人様 **5,000**円

お問い合わせ：二ノ湯さとし京都事務所
お申し込み先：TEL 075-315-2228 FAX 075-315-2310

二ノ湯しんじ後援会旅行会 『庄川温泉と白川郷』の旅

◆旅 行 日　**平成23年6月25日(土)・26日(日)**　◆参 加 費　*34,000*円

◆コース概要（予定）
1日目：京都→木彫りの里・井波彫刻会館→庄川温泉（泊）（旅館　ゆめつづり）
2日目：庄川温泉→白川郷→高山・上三之町→京都

◆申込締め切り **5月31日**（定員になり次第終了させて頂きます）

二ノ湯さとし後援会の皆様も是非ご参加ください。

参議院議員 **二ノ湯さとし事務所** TEL(075)315-2228 FAX(075)315-2310

身辺雑記

一、統一選後半戦も自民党の健闘、民主党の苦戦が目立った。京都府で向日、京田辺、木津川の3市で市長選挙が実施されたが、選挙が行われたのは向日市だけ。いずれも保守の市長だが、民主党は候補者の擁立が出来なかった。

一、府連会長は結構忙しい。4月1日から23日まで、京都府下の自民党公認、推薦候補者の事務所激励訪問、個人演説会、決起大会に出席した数は104回。それでもほとんどの候補者が当選し、疲れも余り残らなかった。

一、東電福島原発事故で多くの人達が不自由な生活を強いられている。避難所を東京電力の会長、社長以下の幹部がお詫びと謝罪に回っている。避難されている人の気持ちは痛いほど分かるが、土下座させ謝らせている姿はいかがなものか。

一、国会議員の政治活動を支えるために国から政党助成金が、支給されている。自民党の場合、議員の数が減り、しかも野党となったために台所事情が極端に悪くなり、議員に交付される資金が大幅に減り、政治活動が難しくなってきた。

一、父親の母親、つまり私の祖母の50回忌が三重県の従兄弟の家で行われた。田舎育ちの私には、出席した従兄弟たちは分かるが、それ以外の人はほとんど分からなかった。50年も経てばまさに故郷は遠くなりにけりである。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1200円

郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

「日本真生塾」 第9回例会のお知らせ

平成23年6月27日(月)　18時～21時
場所：**龍谷大学アバンティ響都ホール**
（京都駅八条口前アバンティ9F）
※東エレベーターからのみ上がれます

★今後のテーマは「戦後の日本」について進めてまいります。
使用するテキストは、「骨抜きにされた日本人」（1500円）
★日本真生塾は塾生を引き続き募集しております。
★毎月１回の例会を開催
★年会費　一般（社会人）　5000円
学生　2000円

＜お問い合わせは事務局へ＞（担当：近藤）
右京区西院坤町2ハウスドゥ四条ビル6F
TEL：050-7544-4018
メール：nihonsinseijuku@yahoo.co.jp
詳しくはホームページをご覧ください。日本真生塾 で検索。

日本真生塾　塾長　**岡本幸治**